

大野地区の年間行事

地区外の人々との交流を

大野地区では、年間を通して地域行事が盛んにおこなわれており、特に夏祭りやふれあいスポーツ大会、豊年祭は地区住民が集まるだけでなく、鹿児島大学の学生も参加するので、とても賑やかな催しとなっています。



また、12月には、毎年1日に解禁となる地区の名産品であるつらさげ芋を求めて、多くの方が大野原いきいき祭りを訪れます。このように大野地区では、伝統的な行事を地域一丸となって続けているだけでなく、若い世代や地区外の方々との交流を積極的に行い、地域活性化のアイデアやモチベーションになっていることから、懐の広い地区としての一面も各行事から垣間見ることができます。

1月：桜島爆発記念集会

2月：春祭り(大羽重神社)

5月：高峠つつじ祭り

7月：大野原夏祭り

9月：ふれあいスポーツ大会・敬老会

11月：豊年祭

12月：つらさげ芋解禁・大野原いきいき祭り

大野地区公民館



主な受賞歴

- 会長賞 (平成 25 年度鹿児島県共生・協働型地域コミュニティづくり推進優良団体表彰)
- 平成 25 年度おおすみの地域力表彰
- 全国過疎地域自立促進連盟会長賞 (平成 27 年度過疎地域自立活性化優良事例表彰)
- 農林水産大臣賞 (平成 28 年度豊かなむらづくり全国表彰九州ブロック)
- 内閣総理大臣賞 (平成 28 年度農林水産祭むらづくり部門)

大野地区公民館では、垂水市の第4次総合計画の基本構想に基づく地域振興計画から、平成22年度に地区内の意見や要望を集約し、「10年後のありたい姿」を実現するための「大

野づくり計画」を策定しました。この試みは垂水市での地域振興計画のモデルケースとされ、その後平成26年度に見直しを行いながら、令和2年度までに様々な計画を形にしてみました。その間、平成28年度農林水産祭村づくり部門において、内閣総理大臣賞を受賞するなどの実績を重ね、現在では第2期大野づくり計画を策定し協議を重ねています。大野の人々が計画を実現していく中で、垂水市や鹿児島大学と連携し、地域一体となって新たなことに挑戦し続けていく姿は、大野に移り住み、土地を切り拓いてきた先祖たちの開拓魂を大野の人々がしっかりと受け継ぎ今も未来を見据えながら生きていく証といえます。